

Club Homepage URL <http://rid2510.org/otarusouth/>

●例会場/ニュー三幸 ●例会日/毎週金曜日12時30分 ●事務局/〒047-0032 小樽市稲穂1-3-6 ☎0134-33-3500



●2014-2015年度RIテーマ
LIGHT up ROTARY
 ゲイリーC.K.ホアンRI会長
 ●第2510地区重点目標
 RIテーマ「ロータリーに輝きを」
 を推進しよう

**55年の歴史の蓄積の上に立って
 ロータリーにさらなる輝きを**

●再来週 7月25日金 のプログラム

◎「新入会員卓話」

●来週 7月18日金 のプログラム

◎クラブフォーラム

●今日 7月11日金 のプログラム

◎理事・各委員長挨拶

02

通巻 第2658号
 2014年7月11日発行

1960年創立
 昭和35年2月5日

●第1回例会報告 7月4日金 「新年度三役挨拶 会長・副会長・幹事」

- 国歌斉唱 ■ 「君が代」
- ロータリーソング ■ 「我等の生業」
- ゲスト・ビジターの紹介 ■

稲垣 哲也 氏、渋谷 繁男 氏 (小樽RC)

■会長報告 ■ 加藤会長

- ・7月2日(水) 小樽RC・小樽銭函RC会長、幹事私と工藤幹事6名で中松小樽市長へ表敬訪問させていただきました。
- ・今年も「小樽潮まつり」へ参加したいと思っております。詳細につきましては社会奉仕委員会福島委員長から後日お知らせさせていただきます。
- ・来週11日の例会にて、「細則改訂案」についてのご審議をお願いいたします。

■幹事報告 ■ 工藤幹事

- ・新会員名簿配布の通知。(安倍→安部訂正お願い申し上げます。)
- ・会報ファイル配布の通知。
- ・理事会開催の案内(例会及び親睦委員長へ出席要請)
- ・「ロータリーの友」電子版のアクセス。ID、パスワードは板書に貼りつけ。

■2013-2014年度 舩井ガバナー補佐よりご礼状 ■

吹越直前会長



■乾杯 ■

加藤会長



■SAA ■ 上野委員長

- ・御席後部に「番茶」を用意しておりますので精々ご利用下さい。

■ロータリー財団表彰 ■ 加藤会長より 佐藤(公)会員



■会員誕生祝 ■ 7月生れの会員

- 7/11高木(成)会員/19高木(正)会員、唐橋会員
- 20山田(幸)会員/21大淵会員、佐藤(友)会員



いつまでもお元気で!

2014-2015 年度 小樽南RC



新年度三役挨拶



加藤会長 濱本副会長 工藤幹事

会長挨拶

2014～2015年度クラブ活動計画及び目標



を築いてくれました。わたしは、我が小樽南ロータリークラブの伝統は、55年の蓄積の上に、世代を超えた会員相互の親睦と友情の深さだと思っています。

今から25年前、ちょうど我がクラブから初めて粕谷ガバナーを輩出した年(1989～1990)のヒューアーチャーRI会長のテーマは「ロータリーを楽しもう(ENJOY ROTARY)」でした。ロータリーの活動は会員自身が意義を感じ、生き方の糧(かて)となつてこそ前向きな実践に結びつき、成果をあげることができると思います。

さらに本年度のRIの重点テーマは「ロータリーに輝きを」です。会員各位が日常のロータリー活動に意義を見出し、喜びを感じてこそ価値ある奉仕活動に繋がると考えます。そしてそのことが、30周年の「ロータリーを楽しもう」と本年度の「ロータリーに輝きを」という普遍的なテーマに合致する重要な事柄だと考えます。

55年の節目を契機として、先に述べた目標を達成するため、会員各位にさらなるご協力をお願いいたします。そして各位のご協力によってのみ、本年度の目標の延長に生じる「楽しく活動できる小樽南ロータリークラブの形成」と「地域の奉仕活動の更なる充実した実践」をはかることが、初めて可能になると信じております。

(クラブ活動目標)

1. 創立55年の節目の年に、クラブ活動を充実した1年にしよう。
2. 地域・社会の未来を担う若者、子ども達のために奉仕しよう。
3. クラブの未来を見すえ、会員増強に努めよう。

加藤会長

◎重点要望

1. 会員増強を常に心がけること。
2. 会員の多様性の再認識。
3. 行事への積極的参加。
4. 奉仕の理想と実践。
5. ロータリーデーの開催(ポリオプラス含む)

副会長挨拶

濱本副会長



今年度、加藤会長のもと、副会長を務めさせていただきます濱本です。入会4年目で在籍年数が本当に短く、ロータリーへの理解も不足している私が、創立55周年を迎える歴史と伝統のあるクラブで、会員の皆さんと対面するこのような席に座り、副会長の重責を担う事になるとは夢にも思っていませんでした。

今、責任の重さを実感し、緊張しています。

一年間、宜しくお願い致します。

私には二つの役割があると思っています。一つは副会長として、加藤会長の足手まといにならないようにしながら、工藤幹事と協力して会長の活動目標の実現そして重点テーマの達成のために微力ではありますが活動してまいります。

二つ目はクラブ奉仕委員長として、五つの委員会の有機的な連携をお手伝いして、楽しいクラブライフの実現に寄与したいと思っています。会員一人一人が楽しいクラブライフを実感できてこそ、会員全てが輝き、その集合体のロータリーが輝くと信じています。

55周年に相応しい意義ある一年、輝く一年にするために、宮川会員はじめ歴代の副会長経験者の皆様、そして先輩会員の皆様に、ロータリーの友情で裏打ちされたご指導、ご協力をいただき、職務を全うしたいと思っています。もとより浅学菲才の私ですが、副会長である前に一人のロータリアンとして、奉仕の理想を求め、奉仕の実践を通じて小樽南ロータリークラブが更に光り輝くように頑張ります。

改めて、この一年間どうか宜しくお願い致します。

幹事挨拶

工藤幹事



新幹事を拝命いたしました、工藤でございます。これからの1年間、宜しくお願い申し上げます。わたしは二つの大学をいっておりますが、一つは西洋哲学、もう一つは経済学を専攻しました。それから深層心理学の流れに入り、現在に至ってお

ります。最後の専門領域は、常に人間の表裏、本音と建前を知ることが必要でもありました。しかし、自ら主宰している絵本児童文学研究センターやロータリークラブのような文化的活動については、常に表の顔で頑張っていきたいと思っております。そして、それによって、多くのクラブ奉仕委員会や奉仕プロジェクトと理事会及び三役の調整役の幹事として職責を遂行したいと考えております。ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

ポリオ撲滅に御協力を(ポリオ撲滅は今！)

国際奉仕委員会 松浦会員



このたびポリオ撲滅活動資金を確保する目的でご寄付をお願いしております。羽部年度にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ポリオの現状についてお話ししますと、野生ポリオウイルスによる感染が続いているのは、パキスタンやアフガニスタンやナイジェリ

アの3ヶ国のみとなっておりましたが、しかし、昨年10月にシリアで新たなポリオ患者が発生し、再び流行ははじめました。現在、カメルーンなど10カ国でポリオの感染が拡大しており、WHOは今年5月5日、「緊急事態」を宣言しました。専門家は、今ポリオを撲滅しなければ、今後40年の間にポリオ感染は1,000万件に達すると予測しています。

しかし、残り1%のポリオとの闘いが、最も困難であると云われています。これは地理的な隔離、乏しいインフラ、武装紛争、文化的障害と云った要因が予防接種活動の妨げとなっているためです。ポリ

オを撲滅するまでは、世界中の国が再発生のリスクにさらされています

残る1%セントの闘いを成功させるためには、引き続き資金が必要とされます。撲滅活動の運営、医療従事者の確保、研究所の設備、保険従事者と親への教育など資金の確保が重要です。

ロータリーはビルゲイツ&メリンダ財団との新しいキャンペーンを行っています。(ポリオ撲滅のためのロータリー財団寄付の2倍の寄付を上乗せする)

ロータリーデー、ロータリーウィークは、このような状況の中、羽部ガバナー年度にはポリオ撲滅を重点目標の1つに掲げ、2510地区各クラブで、ポリオ撲滅の運動・募金をより一層推進して頂きたいと考えています。次年度に新たに定めたロータリーデー(9月14日)ロータリーウィーク(9月8日~9月20日)は、ポリオ撲滅推進イベント(街頭募金やチャリティーイベントなど)を盛り上げ企画・実行して頂きたいと考えております。ポリオ撲滅募金活動は各クラブ15万円を目標にお願いしておりますが、小さいクラブもありますので目標金額に関わらず努力をお願い致します。エンドポリオナウを目標に宜しくお願い申し上げます。

出席委員会

・平成26年7月4日

会員総数 72名 本日の欠席者 10名

石上、岡崎、角野、佐藤(友)、新倉、野村、林、湊、山田(正)、山吹

・平成26年6月20日

会員総数 72名 出席摘要免除者 17名

病欠者数 0名 ホーム欠席者数 16名

メーカー数 6名 純欠席者数 10名

確定出席率 84.62% 6月平均出席率 94.60%

メーカー

6/24 坪井、石上、柴田、福島、山吹、山田(正)(小樽RC)

6/20 上野、湊、三栖(親睦委員会)

「ロータリーの新しいロゴ」

Rotary



新しいロゴは rotary WEB からダウンロードできます。
<https://www.rotary.org/>

長年にわたり、ロータリーの「歯車」が資料や掲示板でロゴとして使われてきました。

この歯車には「Rotary International」という文字が入っていますが、文字が小さいために遠くからは読みづらいものとなっています。

その結果、一般の多くの人びとは、ロータリーの存在またはプロジェクトや活動におけるロータリーの貢献に気付かないことがあります。

ロータリーのロゴに「Rotary」という文字を入れたのは、このためです。

これがロータリーの公式ロゴであり、可能な限り、このロゴを表示するようにしてください。(ロータリービジュアルアイデンティティのガイドより)

ロータリーは、誰にでも何かをもたらしてくれます。ロータリアンは、1世紀以上にわたり、奉仕することを目的として、世界中の地域社会で集ってきました。創立以来、大勢のロータリアンが、ローターアクト、インターアクト、ロータリー地域社会共同隊、青少年交換や、その他多くのプログラムへの参加を通じて、ロータリーの奉仕の喜びを発見してきました。私たちは皆、ロータリーファミリーの一員であり、ロータリーの奉仕の経験から多くを得ています。ロータリーを通じて私たちは、友情を育み、地元貢献し、また、より良く、より安全で健康な世界を実現するために力を尽くしてきました。そして、真に国際的なボランティアのネットワークを形づくただけでなく、人々が互いの違いを乗り越えて手をつなげば、驚くべきことが達成できることを、実証してきました。

ロータリアンが大切にしてきた考え方や価値観の多くは、ロータリーに限られたものではありません。私自身がロータリーに深く共鳴するのも、ロータリーの価値観に、奉仕や責任の重視、家族や他者の尊重といった中華的価値観と重なるところがあるからだと思います。ですからロータリーの奉仕において、私はよく孔子の教えを指針とします。孔子は、私にとって「元祖ロータリアン」だと言ってもいいかもしれません。ポール・ハリスが誕生する2,000年以上前、孔子はこう述べています：まず自分の行いを正しくし、次に家庭を整え、次に国家を治めてこそ、天下が平和となる。ロータリアンは、超我的奉仕の理念によって自らを律しますが、奉仕において高い目標を掲げるためには、ロータリー自体に対する手入れを怠らず、ロータリーファミリーを拡大していくことが必要です。2014-15年度には、ロータリーの奉仕を人びとと分かちあい、クラブをより強力なものとし、地域社会でロータリーの存在感を高めることで、「ロータリーに輝きを」もたらしていただけるようお願いいたします。

本ロータリー年度、新会員を引き付けるとともに、現会員を維持し、会員数130万人という目標を達成することによって、ロータリーを輝かせてください。そのためには、新しいアプローチとアイデアをもって会員増強に取り組まなければなりません。例えば、地元で「ロータリーデー」を開催してロータリーを知ってもらいましょう。ロータリーはそれ自体がファミリーであり、家族のためのものですから、配偶者をはじめご家族に入会を検討するよう勧めるとともに、青少年交換の元参加者や財団学友にも声をかけましょう。クラブの現状を直視して、新会員の入会理由と、既存会員の退会理由を検討しましょう。そして、多忙な職業人やまだ幼い子供がいる人たちにとって、ロータリーを魅力的で興味をそそるものにするために何をできるか考えてみましょう。

さらには、ポリオを撲滅して「ロータリーに輝きを」もたらし、歴史に1ページを刻みましょう。ロータリアンのこれまでの勢いをもってすれば、今後数年以内にポリオを世界からなくすことは、明らかに可能です。ポリオ撲滅を実現することの重要性を、今こそ、ご友人、同僚、地元の議員や政府関係者に伝えてください。ポリオプラス基金に寄付し、ほかの方々にもそれを勧めてください。ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団からの新しいチャレンジに応えることで、ロータリアンの資金を3倍生かすことができます。この史上最大の、公共・民間のパートナーシップに、ぜひともご参加いただき、ポリオない世界が実現した際には、世界中の人たちと誇りと喜びを分かち合いましょう。2014-15年度、34,000を超える地域社会で、クラブを強化し、「ロータリーに輝きを」もたらせば、ロータリーの奉仕で世界に輝きをもたらすことができるでしょう。



2014-15年度国際ロータリー会長
ゲイリー C.K. ホアン